

みんなの“ばあば”は
今日も明日も
ハイカーを包み込む

たけやま さちえ

武山 幸江さん

から揚げっこ屋 店主(愛称・ばあば)

昭和28年、宮城県石巻市生まれ。
宮城県石巻市の北上川沿いにある釣石(つりいし)神社の隣でハイカーに大人気のから揚げ屋「から揚げっこ屋」を経営。

釣石神社や震災遺構大川小学校を訪れた方々、工事関係者の方々にゆっくりしてもらいたいとお茶を出してもてなした「お茶っこ」をしたのがこの始まり。そこから話が広がり、東京にいた頃の飲食の経験を活かし、お弁当を売り始めました。

初めてハイカーが訪れたときは、対応に戸惑いましたが、重そうなバックパックを背負っているのを見ると、面倒みたくなくていつのまにか話しかけていました。目一杯のもてなしをしたい気持ちは、幼い頃から母が色々な方を家に招き、もてなしていたのを見ていたため、当たり前のように身につき、自然と心の底から出ちゃうんです。

やっとの思いで訪れたハイカーに、から揚げを食べて元気に復活してくれたことがあり、それがとても嬉しかったです。

昼の注文が殺到したときでも、“水ある？充電ある？”と声がけだけは欠かせないです。この場所を目指してきてくれたハイカーに時間の許すかぎりおもてなしをして、安全に気をつけて旅ができるよう見送ってあげたいです。

みちのく潮風トレイルのおかげで人口が減ったこの地域にハイカーが訪れて、たくさんの交流ができました。そして、この場所を通してハイカーと地域の人たちがつながり、ご縁が広がっていくことがとても嬉しいです。

これからも、美味しいご飯でおもてなしをして、重いバックパックを背負ったハイカーの重荷をポンッと取り除いてあげたいです。



たくさんのハイカーが立ち寄るようになり、次訪れるハイカーに言葉のバトンを残してほしくてノートや木の板を置き始め、今では、メッセージで書き埋められるようになりました。

